

# V 実証実験の効果検証

## 1. 利用者の意向調査

### ■ 利用者の評価（アンケート）

・女性の利用者が約8割と多く、大街道の実験に比べても高かった。

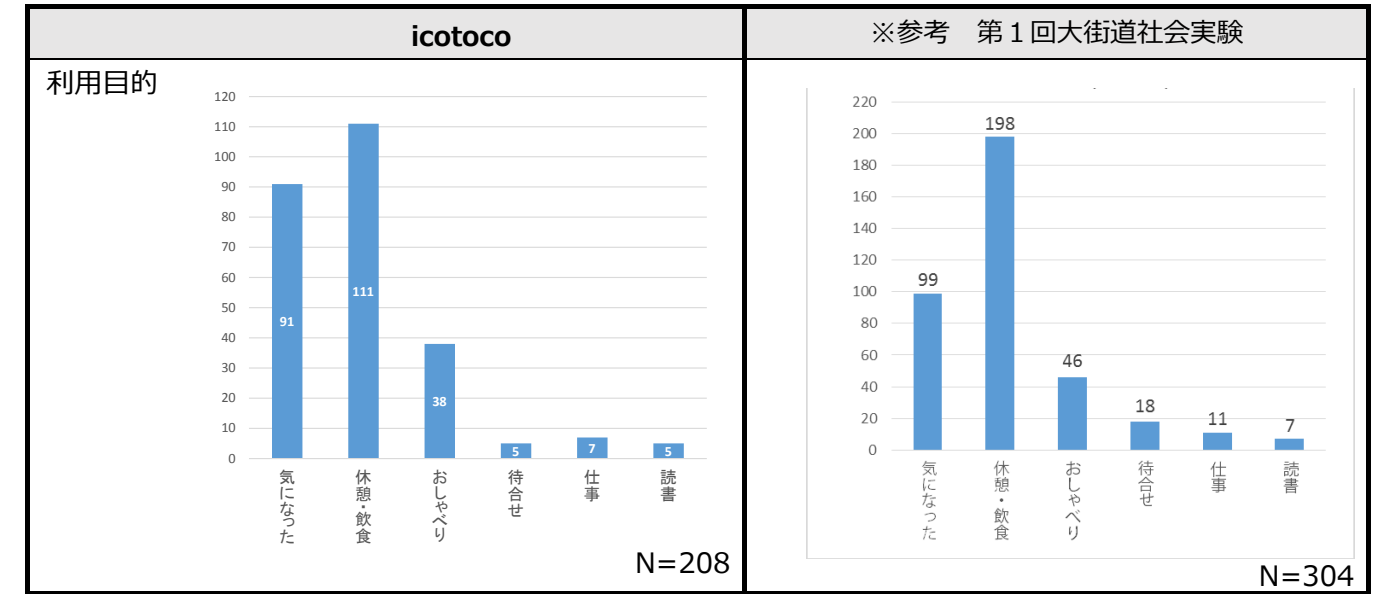
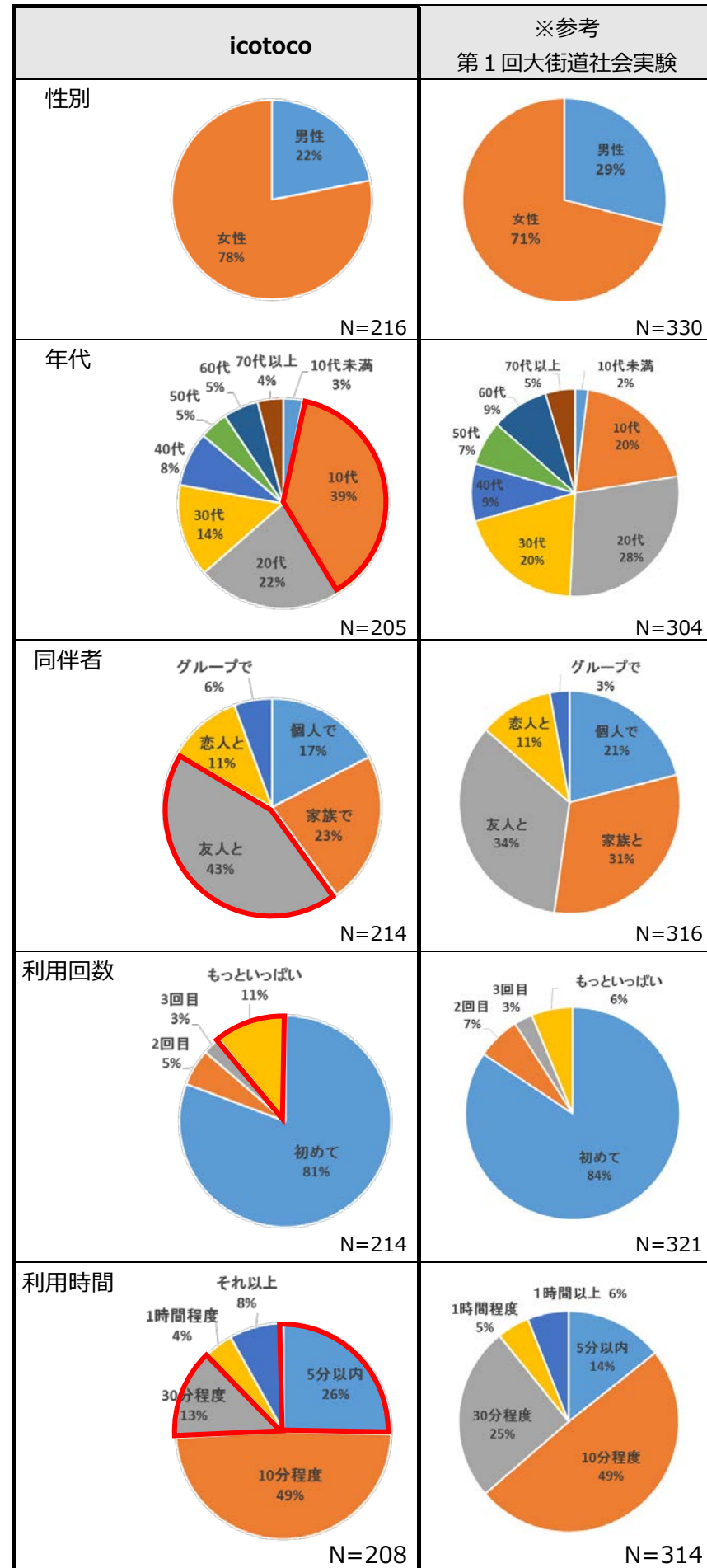
・10代の利用者の割合が約4割と高い傾向にあった。

・友人との利用が43%と多く、次いで家族との利用が多い。

・一方で個人での利用も17%と約2割程度おり、多様な利用形態が見られた。

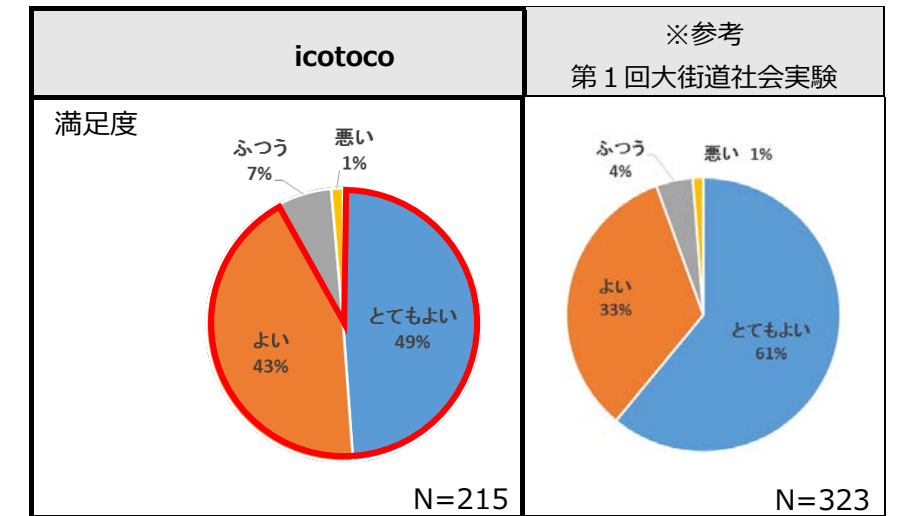
・利用回数は、初めての利用が8割と多い一方、複数回利用している利用者が2割おり（4回以上の利用者が1割以上存在）、一定数のリピーターが存在がある。

・利用時間は、10分程度の利用が約半数と最も多く、次いで5分以内と、短時間利用者が多い。大街道の結果に比べても短時間利用が多く、30分程度の利用者の割合が少なかった。



・利用目的は「休憩・飲食」での利用が最も多い。大街道に比べて、「気になった」という回答が多く見られており、シャッター前のコンテンツ（本や意見交換ボード）などの影響も考えられる。

・「とてもよい」との回答が約半数、次いで「よい」との回答が43%と、9割以上の利用者が満足する結果となった。



### □ アンケートの設置の状態



## V 実証実験の効果検証

### ■ 利用者の評価まとめ（アンケート自由意見・利用者等ヒアリング）

- ・座り場や同時に付加したライブラリーなどのコンテンツについての評価も高く、**継続的な実施、商店街各所への拡張を希望する声が多かった。**
- ・10代、20代の若い世代からは、幅員の狭さに起因し、**人目が気になるという意見**や、歩行帯との仕切りになる**植栽等のバッファーがもう少し欲しい**という意見も多かった。
- ・木のおいがすることや、木質感があること、おしゃれな空間で良いという意見が多くあがっており、今までの商店街にはない雰囲気や質感に好意的であった。
- ・一方、**イスやテーブルが低く前屈みになり座りにくい**という意見や、イスやソファに**背もたれがほしい**という意見も多くあがっており、休憩や飲食など用途に合わせたデザインが求められた。
- ・機能としては、ちょっとした飲み物などの飲食の提供を求める声が多かった。

### ■ 利用者の評価（アンケート自由意見・ヒアリングより抜粋）

評価（座り場）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外では多いですが、松山はこれからですね。多くなることを願っています。（70代女性 単独利用）</li> <li>・<b>このような空間をもう少し増やしてほしい。</b>（10代女性 友人と2人で利用）</li> <li>・一般の商店街は座ったり休憩できるスペースが無いのでくつろげて良い試みだと思う。（40代女性 2人で利用）</li> <li>・<b>高齢者にはとてもありがたいお計らいでこれが使えるならまた出かけてみようかという気が起こる。</b></li> <li>・今日初めて見かけて利用した。素晴らしい。<b>銀天街～大街道のL字ルートのこのようなスポットがたくさんできたらうれしい。</b>（50代女性 単独利用）</li> <li>・続けてほしい。ベンチはクッションが柔らかくて気持ちいい。高さもちょうどよい。<b>散歩で疲れて立ち寄っている。また頑張っ</b>て歩こうと思える。</li> <li>・ぜひ続けて欲しい。すわり場は必要。<b>温かみがあって木の雰囲気が良い。木のおいもして癒される。</b>（60代女性 単独利用）</li> <li>・わざわざお店に入るほどでもない<b>ちょっとした待ち合わせの時とっても使い勝手がいい。</b>（30代女性 単独利用）</li> </ul>
評価（雰囲気）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街から抜け出したような気持になる。商店街の中だけど、一回ここに座るだけで<b>家の中と同じくらいリラックスできた気持ちを感じる</b>ことが出来た。（10代男性 友人と3人で利用）</li> <li>・おしゃれで、<b>みんなが使えてとてもいい。</b>（10代女性 友人と3人で利用）</li> <li>・おしゃれでとても素敵。街がどんどん華やかになっていくと嬉しい。（10代女性 友人3人で利用）</li> <li>・看板がかわいかった（20代女性 単独利用）</li> </ul>
評価（企画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本がいっぱい置いてあって嬉しい。（10代女性 友人と5人で利用）</li> <li>・<b>本のアイデアが良かった。</b>今度持ってくる。（女性 友人と利用）</li> </ul>



要望（空間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>人通りが多く、視線が気になるので壁をつくってほしい。</b>（10代女性 4人で利用）</li> <li>・すぐ近くを人が通るのでなんだか気まずい。もう少し仕切りなどあるといいと思った。（10代女性 友人と利用）</li> <li>・通る人の目が気になるので目隠しのようなものが欲しい。（20代女性 単独利用）</li> <li>・<b>何が目的か分かりにくいので使いにくい。男性だと居ずらく、女性がターゲットなのかと思ってしま</b>う。（50代男性 単独利用）</li> </ul>
要望（機能）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年寄りを連れての行程で良く利用している。<b>背もたれがあるイスの方がよく休めるようなので、新しく増えたイスも素敵だが、背もたれイスも残してほしい。</b>（40代女性 家族で利用）</li> <li>・<b>イス、テーブルが低い</b>ので高くしてほしい。（30代女性 家族3人で利用）</li> <li>・お花があると嬉しい。<b>低いテーブルは前かがみになるので少し使いにくい。</b>木の隙間は子供が手を入れたがるのでお母さんたちは気になるのでは。（60代女性 単独利用）</li> <li>・お店に入るのは嫌なので休憩スペースはありがたい。<b>飲み物販売などあるとなお良い。</b>（女性 家族で利用）</li> <li>・<b>コンセントと利便性の良いwifi、心地良い音楽</b>があると良い。（30代女性 単独利用）</li> <li>・<b>ゴミ箱</b>があるとありがたい。（10代女性 友人と2人で利用）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本があるのは面白いがルールがよく分からなかった。（20代女性 友人と利用）</li> </ul>

### ■ 非利用者の評価（きらりん・銀天街のベンチを利用している方へのヒアリングより）

- ・静かな方がよかったので室内にした。（40代女性）
- ・どこかのお店やイベントスペースかと思った。（70代女性）
- ・自由に使える場所であることが分かりにくかった。（40代男性）
- ・icotoco ができた当初よくテレビが来ており特殊な空間というイメージ。きれいすぎて遠慮してしまった。（40代男性）
- ・目立っている。周囲から浮いている感じがして恥ずかしかったのできらりんを利用した。（20代男性）
- ・車いすだと狭かったため、きらりんを利用した。（20代男性）

### □ 参考：大街道との比較（利用者・非利用者ヒアリング）

#### 【銀天街の方が良い】

- ・人もお店も多く、道幅も狭いので賑やかな感じがするので、見ていて楽しい。（70代女性 単独利用）
- ・クッションがあるので良い。（20代男性 家族で利用）
- ・駅や高島屋から近いのでこちらの方が利用しやすい。（70代女性 単独利用）

#### 【大街道の方が良い】

- ・大街道の方が使いやすい。ちょっと休憩したいだけなのであまり作りこんだものはかえって使いづらい。こちらは落ち着いた雰囲気のため、人が一人座っているとより使いにくくなる。（70代女性 友人と利用）
- ・大街道の方が立地的によく使う。ここだと駅が近いのであまり立ち止まらない。（20代女性 友人と利用）

#### 【その他】

- ・使い勝手に特に違いはなく、休憩したくなった時に近いところを利用する。（60代女性）

## V 実証実験の効果検証

### 2. 周辺店舗等の意向調査

#### 【全体】

- これまでの公共空間を利活用した取組みや、今回の滞留空間の設置などに対する賛成意見が多く、利用者の変化はなかったが、すべての店舗が良い取組みであると感じており、**継続的な実施・展開を求めている**。
- 実験前は興味を持たなかったり否定的な意見のあった店舗も、**実際の滞留空間やその使い方を見て、興味を持ったり実際にやってみたいと答えるなど、実験による店舗側の意識の変化も見られた**。

#### 【空間の評価】

- 今までの銀天街にはない雰囲気空間・デザインにより、暗かった**商店街の印象が明るくなった**と答える方が多かった。
- 特に**空き店舗前に滞留空間をつくるということに対する肯定的な意見**が多かった。
- 利用者の意見と同様、**もう少し人目を遮られる工夫も必要**という声もあがっていた。

#### 【自店舗前での設置・実施について】

- 店舗の業種により、**自店舗前での実施への意欲は異なる**。
- 飲食店は親和性が高く**相乗効果のある空間として捉えられており、協力的**。
- 一方、服飾店舗や雑貨店など、**陳列した商品を見てもらう必要のある店舗は、継続的な実施や展開には賛成するが、自店舗前での実施は難しく、近隣の空き店舗前での実施には協力するなどの声もあがった**。
- 商店街各所への展開を求める声に加え、全く同じものを展開するのではなく、**それぞれ店舗や場所に合わせた個性を出せると良い**という意見もあった。

#### ■ 滞留空間周辺の店舗

##### A (飲食物販)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共空間に座り場を設置するのは良い取組み。</li> <li>現状のベンチなどは人目が気になる、きらりんは飲食しにくいという声もある。</li> <li>子連れやお年寄りが気軽に利用できるようなものだと良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗への直接的な影響・効果はない</li> <li><b>特定の店舗かと思ったという声</b>をよく聞いた。</li> <li>視線が合うのが気になるので、建物内を中心とした方が利用者も増えるのではないかと。</li> </ul>

##### B (服飾雑貨)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>きらりんができてトイレの案内がしやすくなった。</li> <li>高齢者は店内で商品棚に腰掛けたりするので、座り場のニーズは高い。</li> <li>ゴミの問題が出てくるのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続実施には賛成だが、<b>店舗前に滞留空間があると商品が見えなくなってしまうので難しい</b>。斜向かいくらいだと店舗も商品も目に入り興味も持ってもらえるので良い。</li> <li>コーヒーショップなど<b>飲食店前であると良い</b>。入るほどでもない時は店先で飲めたら気分が良い。</li> <li>今の銀天街はアーケードでいつでも曇りのように暗い。たまにアーケードの屋根が開いていると明るく風も通り抜けてとても気持ちが良い。<b>屋根を開けたところに座り場があると良いのでは</b>。</li> </ul>

##### C (その他物販)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者は低いイスだと沈み込むため、柔らかい素材やソファだと座りにくく、イスやベンチが合っていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>雰囲気が明るくなった</b>。</li> <li>座る場所が<b>商店街の色々なところ</b>にできるのは良い。継続してほしい。</li> </ul>

##### D (宝飾雑貨)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物客にとって良い取組み。</li> <li>現在のベンチは座っている方と目が合う。</li> <li>シャッターが黒いシートで少し暗くなった印象。広告的なインパクトはあるが、白など木質感のある滞留空間と一体的なデザインでも良い。</li> <li>銀天街は暗いので明るくなるデザインが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おしゃれな空間なのでよかった。</li> <li><b>アーケードで暗い銀天街の雰囲気も明るくなったと感じた</b>。</li> <li>休憩スペースも少ないので、<b>継続的にやることには賛成</b>。</li> <li>きらりんの看板も、隣のシャッターとあわせておしゃれになると良い。自店舗前なので気になる。</li> </ul>

##### E (服飾雑貨)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>家族連れには良い。集客効果に多少は期待出来るのではないと思う。</li> <li>銀天街のベンチはよく使われている。ゴミがたまに置かれているのが問題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段からベンチを利用する人はこの座り場でなく今まで通りベンチを使用する。</li> <li><b>空き店舗の前を活用したのは雰囲気が変わって良かったので、継続した方が良い</b>。</li> <li>緑などで商店街の雰囲気も良くなった。</li> <li><b>自店舗の前での実施はできる</b>と思う。木の管理などが課題。</li> </ul>

##### F (飲食サービス)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>憩いの場づくりは家族連れなども増えるので良いと思う。そうでないとエミフルに行ってしまう。</li> <li>テイクアウトしてベンチで飲む人もいる。滞在スペースを設ければ、さらに増えると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初は売上が伸びた気がしたが、<b>実際に確認できるほどの変化はなかった</b>。</li> <li>家族連れの方が利用した際に、大変良かった(使いやすい、おむつを替えられる)という感想をもらって滞在空間としての良さが評価されたと感じた。</li> <li><b>継続したほうが良い</b>。</li> <li>自店舗の前は社長と相談が必要。</li> </ul>

##### G (服飾雑貨)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物客は車で来ており、無料駐車時間の関係で早く街を出る。</li> <li>駐車場無料、スタンプカードなどをつくると期待できる。</li> <li>きらりんができてトイレの事を言われなくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>テーブルが低く、飲食やもの書きなどには不自由</b>。</li> <li><b>2か所の実施個所が近かったため、広い方のきらりん前を利用する方が多い</b>ように思った。</li> <li>時間つぶしのスマホ利用が多いので、座り場専用のWi-Fiがあると良い。</li> <li><b>売上に関わるため、商品陳列スペースを削った設置は難しい</b>。飲食店舗であれば目に見える効果があるのでは。</li> </ul>

##### H (飲食サービス)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかに休憩スペースが出来ること自体は特にどうということはない。</li> <li>きらりんの影響は特にないがコンビニコーヒーで休憩するケースは増えるかもしれない。あまり増えすぎるとちょっと困るかもしれない。</li> <li>店先にイスやテーブルがあるのは歓迎。出し入れも協力したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座り場の雰囲気は良かった。利用者も多かった印象。</li> <li><b>良い意味で現在の銀天街には無いタイプの空間なので新鮮な感じがして良い</b>。</li> <li><b>継続的に設置した方が良い</b>。</li> <li><b>自店舗でも緑やソファ、テーブルなど少量なら協力可能</b>。</li> </ul>

## V 実証実験の効果検証

### I (服飾雑貨)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀天街のベンチは、使っている人の雰囲気あまり良くなく、見ていて良い風景ではない。</li> <li>・日曜だけ実施すると賑わいも生まれるのでは。最近商店街が貧相になってきたと感じる。</li> <li>・きらりんは管理がしっかりしている様子がして良い。</li> <li>・道幅が狭いので通行の邪魔になるのが心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座れる場所が出来ていいという声は聞いている。特に本が好評だった。</li> <li>・始まる前は浮浪者の溜まり場になるなど懸念したが、きちんと管理されていることで避けられた。</li> <li>・思ったより良かった。是非、継続したらいい。</li> <li>・長時間特定の人が利用するのは良くないと思うので、居心地も(背もたれが無いなど)今ぐらいが丁度よいのでは。</li> <li>・当店のように入口の狭い店ではつらいが、空き店舗や間口の広い店の前ではぜひ増やしていけば良い。</li> </ul>

### J (その他物販)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存ベンチ自体も年配の方が多いので、休める場所があるのは良いことだと思う。</li> <li>・きらりんはトイレがあるので喜ばれる。</li> <li>・これから暑くなるので屋外での滞在はつらくなる。店舗前は冷房が効くのでこういうものは使われるのでは？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年配の客が多いが、中は入りにくいので外にあると使いやすく良いという声が多かった。</li> <li>・木の良い香りがしてとても良かった。</li> <li>・銀天街の雰囲気が良くなった。</li> <li>・是非継続してほしい。ライブなどのイベントもどんどんやったらいい。</li> <li>・少量であれば協力できると思う。</li> </ul>

### K (サービス)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・座れるベンチが目前にあるので店の中も見えてくれる。それで店舗の事を知ってくれた客もいるので助かってはいる。</li> <li>・滞留空間の雰囲気はとても良いと思う。</li> <li>・お客さんから自転車を置ける場所があればいいと言われているので、商店街でも店舗の近くに定められたらいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座り場はあった方がよい。特に空き店舗があると商店街が殺風景になるので、そこに滞在空間があるのはとても良い。お茶を飲んだりする風景を見るにつけ、良いと思った。</li> <li>・滞在空間を設けることで店を認知してもらえ可能性もあるので、店にもメリットがある。ベンチがただあるよりも、座って良いと明示された場所があるほうが良い。</li> <li>・おしゃれで落ち着いた空間で、商店街全体の雰囲気も良くしている。</li> <li>・ゴミの放置などの対応が悩ましい。</li> <li>・増やすべきと思うし、協力したい。出し入れ等の管理等も対応できる。</li> </ul>

### L (その他物販)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドアなら分かるが、商店街に滞留空間をつくって居心地良く過ごすというイメージがあまりない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても良い空間だと思った。雰囲気が良く人がたまっていると実感した。そういった場所で店のチラシなど置くことが出来ればありがたいので良いと思う。</li> <li>・継続的な設置は賛成。</li> <li>・カフェなどの店舗はなじみやすいと思うが、自店では業種も合わないし店先の邪魔にもなるので考えられない。</li> </ul>

### ■設置の可能性がありそうな店舗(店先がセットバックしているなど)

### M (生活雑貨)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗の前に置くのは有り。協力できる。</li> <li>・再開発などに大金を投じるより、もっとコストを掛けずに出来ることもある。この滞留空間づくりのように、合理的なお金の使い方をしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれでも自由に弾けるピアノなど、偶発的なコミュニケーションを生む装置があると面白い。</li> <li>・継続的な設置はあり。ただ、全く同じものを展開するというのはつまらない。管理する人の個性が出るような工夫を考えてほしい。</li> <li>・座り場のキャストは雰囲気を損なう。植栽は日照条件にあわせて適切に選別すべき。</li> <li>・人通りが多いので目立つのが嫌な人の為に緑のついたなどあった方がよい。</li> <li>・設置協力する。ただし自店舗の前は難しく、隣接のシャッターなどでの設置だと協力しやすい。</li> </ul>

### N (その他物販店)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチ等には人がいるので良いとは思いますが、店先だと商品をひっかけて倒される危険があるので困る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回はきらりん一体なので効果が大きかったのでは。</li> <li>・3丁目側でも休憩所はあった方が良く、滞留空間が増えることは良いと思う。</li> <li>・今もベンチの出し入れはしている。店先では邪魔になるので設置には協力できない。</li> </ul>

### O (服飾雑貨)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お酒やたばこを吸われると困る。女性スタッフしかいないので、男の人の対応が難しい。</li> <li>・現在のベンチの利用者は決まった高齢者ばかり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用している人を良く見た。寝ている人もいて、自由な空間だと感じた。</li> <li>・管理は大変なのでやりたくない。</li> </ul>

### P (飲食物販)

実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・座り場があれば良いというお客さんの声などはあまり聞かない。</li> <li>・自店の商品を食べてくれるのであれば良い宣伝になって良いと思うが、他の商品を持ち込まれるのは嫌だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチなどおしゃれでよい。空間的にも少し銀天街がおしゃれになった感じがした。</li> <li>・今後も滞留空間があれば良いと思う。</li> <li>・規模が大きいと難しいが、小規模であれば自店でもやってみても良い。</li> </ul>

### Q (飲食物販)

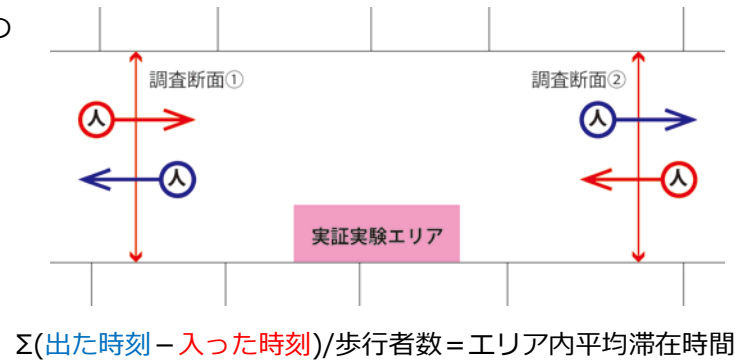
実験前	実験後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共空間に座り場設置をするのは良い取り組み。</li> <li>・来店者のベンチ利用のニーズはある。</li> <li>・今も銀天街のベンチを管理している。</li> <li>・収納スペースがなくベンチを2つ置くといっぱいなので、それが解決されれば喜んで協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラソルやオーニングなどもう少し目線を隠すような工夫があると良い。</li> <li>・今回の実験での滞留空間の雰囲気は良かった。このような取り組みは続けてほしい。</li> <li>・収納するスペースがあればやりたい。</li> <li>・負担金が必要だと分からないが、管理などはできる。</li> </ul>

# V 実証実験の効果検証

## 3 滞留時間の分析

### 1) 調査の概要

- 滞留空間の設置により、平均的な滞留時間がどの程度増加するかを調査した。
- 滞留空間を設置している区間を含む範囲について、銀天街に2か所の断面を設定する。
- 調査断面を歩行者が通過した際の時刻を一人一人記録し、(調査範囲を出た時刻-調査範囲に入った時刻)の平均に変化が表れるかを調査した。(右図参照)



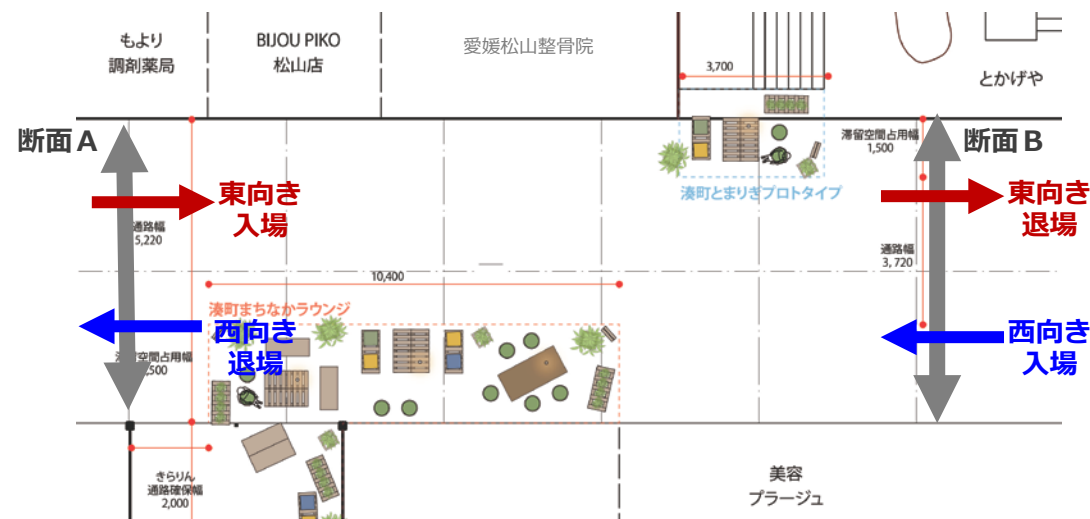
### 2) 調査日時

- 滞留空間設置の効果を図るため、実験の前と実験中のそれぞれ平日と休日(土曜日)で調査を行った。
- 平日、休日ともに歩行者通行量が最も多い時間帯を設定したが、実験中の金曜日に限り、収納を開始する17時30分に調査を完了するよう、30分早く時間を設定した。

	平日		休日	
	実験前	実験中	実験前	実験中
調査日	5月12日(金)	6月2日(金)	5月13日(土)	6月3日(土)
調査時刻	17:00~18:00	16:30~17:30	14:00~15:00	14:00~15:00

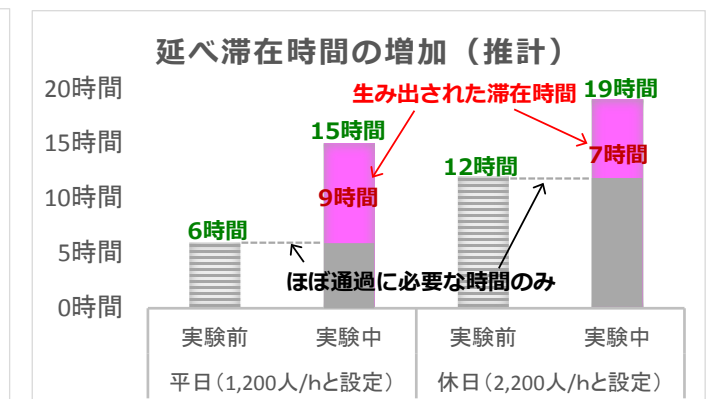
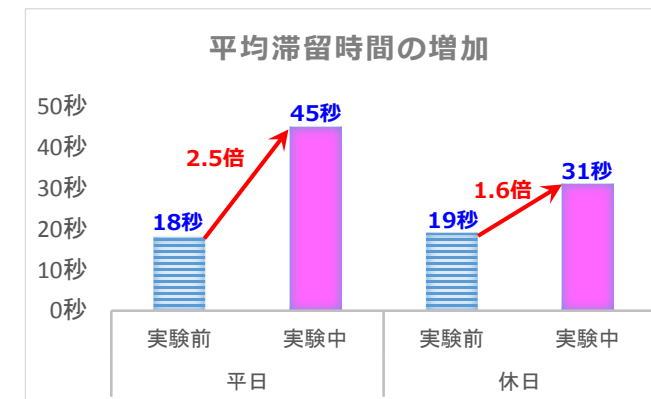
### 3) 調査方法

- 各断面において、調査時間帯に東方面、西方面に通過する歩行者の全てについて、その時刻を記録した。(断面間距離は20m)
- 入場した時刻の平均値と、退場した時刻の平均値とを比較し、その差分から平均滞在時間を推計した。



### 4) 調査結果

- この場所での実験前の平均滞在時間は、平日・休日ともほぼ同じで、18秒~19秒となっている。20mの距離を分速80mで歩くと15秒、70mで歩くと17秒であることを考慮すると、平常時においては、ほぼ通過しているに近い状態であることがわかる。
- 実験期間中は、平日で45秒(2.5倍)、休日で31秒(1.6倍)と大幅に増加する結果となった。
- どれだけ歩行者数が多くても、単に通過しているだけでは意味がない。「歩行者数×滞留時間=総滞留時間」を増やす考え方が重要である。銀天街のピーク時の歩行者数を平日で1,200人/h、休日で、2,200人/h程度(調査結果にもとづき、少ない方の水準で設定。下表太枠部分を参照)として、それらピーク時に通過する人々の総延べ滞在時間に換算してみると、平日で9時間、休日で7時間の滞在時間が、新たに生み出されている計算となる。



	平日		休日		
	実験前 5月12日(金)	実験中 6月2日(金)	実験前 5月13日(土)	実験中 6月3日(土)	
開始時刻	17時	16時30分	14時	14時	
終了時刻	18時	17時30分	15時	15時	
西向き	入場人数(IN) 断面B	812人	649人	1174人	1261人
	退場人数(OUT) 断面A	812人	639人	1186人	1274人
	平均入場時刻(IN)	17時30分36秒	17時02分06秒	14時30分25秒	14時30分56秒
	平均退場時刻(OUT)	17時31分08秒	17時02分55秒	14時30分44秒	14時31分26秒
平均滞在時間	32秒	49秒	19秒	29秒	
東向き	入場人数(IN) 断面A	863人	618人	1071人	1242人
	退場人数(OUT) 断面B	866人	604人	1050人	1230人
	平均入場時刻(IN)	17時31分24秒	17時01分40秒	14時30分48秒	14時29分41秒
	平均退場時刻(OUT)	17時31分29秒	17時02分20秒	14時31分08秒	14時30分14秒
平均滞在時間	5秒	41秒	21秒	33秒	
全体	入場人数(IN)	1675人	1267人	2245人	2503人
	退場人数(OUT)	1678人	1243人	2236人	2504人
	平均入場時刻(IN)	17時31分01秒	17時01分53秒	14時30分36秒	14時30分20秒
	平均退場時刻(OUT)	17時31分19秒	17時02分38秒	14時30分55秒	14時30分51秒
	(滞在時間算出)	0時00分18秒	0時00分45秒	0時00分19秒	0時00分31秒
	平均滞在時間	18秒	45秒	19秒	31秒
通行者数1200人換算の延べ滞在時間	6時間	15時間			
通行者数2200人換算の延べ滞在時間			12時間	19時間	

注) 西向き、東向きを別々にみると、5月12日のように滞在時間に大きな偏りが見られる。これは、「きらりん」のような施設があることで、断面Aから入場して断面Aから退場、断面Bから入場して断面Bから退場といった人も存在することで、データにバラつきが出るためである。両方向を合わせたデータ全体では相殺される。

# V 実証実験の効果検証

## 4. 動線トレース調査

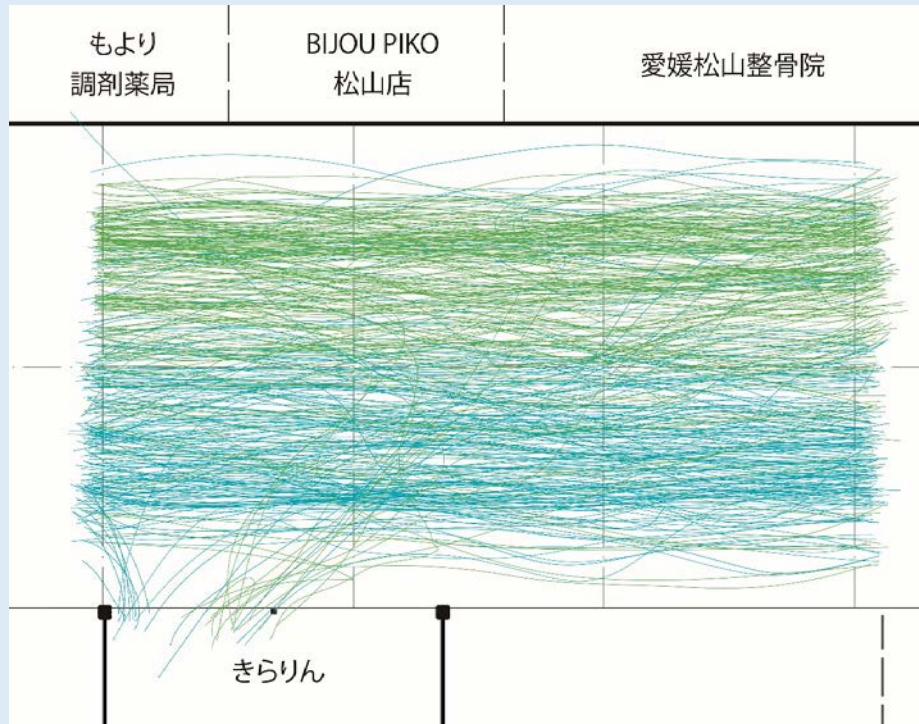
○滞留空間の設置前と期間中において、滞留空間前の歩行者動線の様子をビデオ調査を行い把握した。

調査日：平日実験前：5月12日(金)16時30分~45分 期間中：6月2日(金)16時30分~45分

休日実験前：5月13日(土)14時45分~15時 期間中：6月3日(土)14時45分~15時

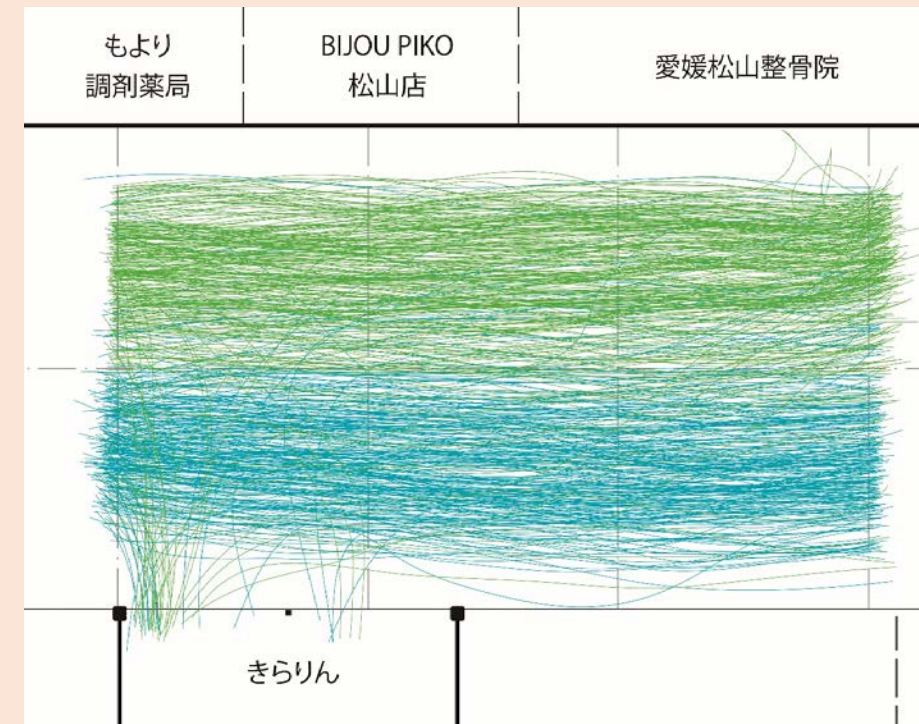
- 東から西の移動
- 西から東の移動
- 立ち寄り行動 (近寄る, 眺める, 座る)
- 歩行者がそのまま座った場所
- 歩行者が一時的に止まった場所
- 周辺店舗店員 ● 店員(途中から)

【平日実験前：5月12日(金)16時30分~45分】



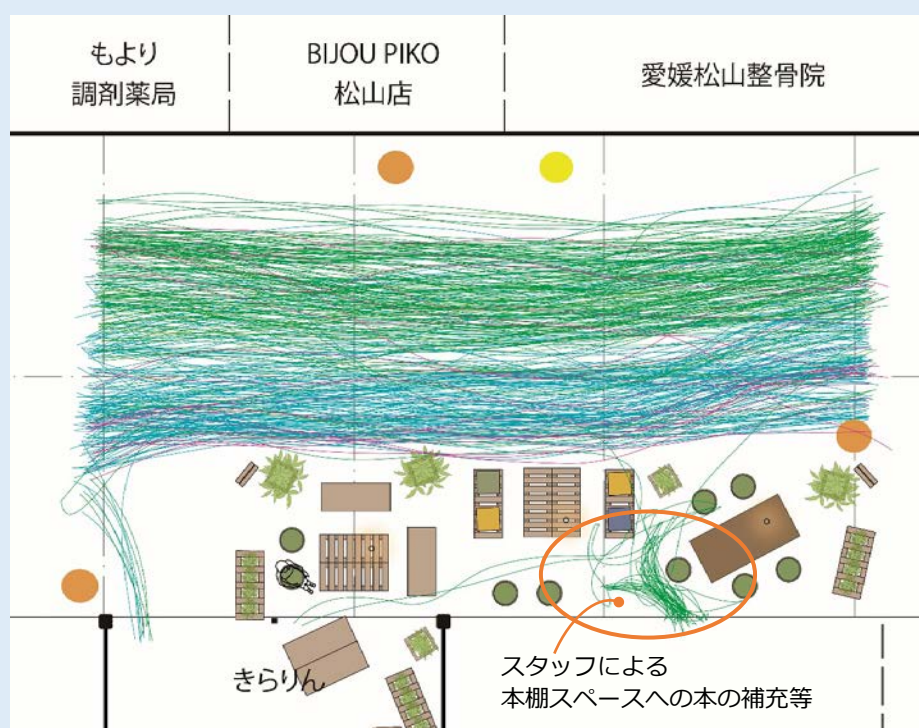
- 調査結果
- 全歩行者数 : 380人
  - 東から西(青) : 192人
  - 西から東(緑) : 188人
- ・歩行者の動きとして左側通行が一般化している。
  - ・店舗前面は看板や店舗什器があるため、歩行者が少ない
  - ・きらりんへ一定数の歩行者が入っている様子が伺える。

【休日実験前：5月13日(土)14時45分~15時】



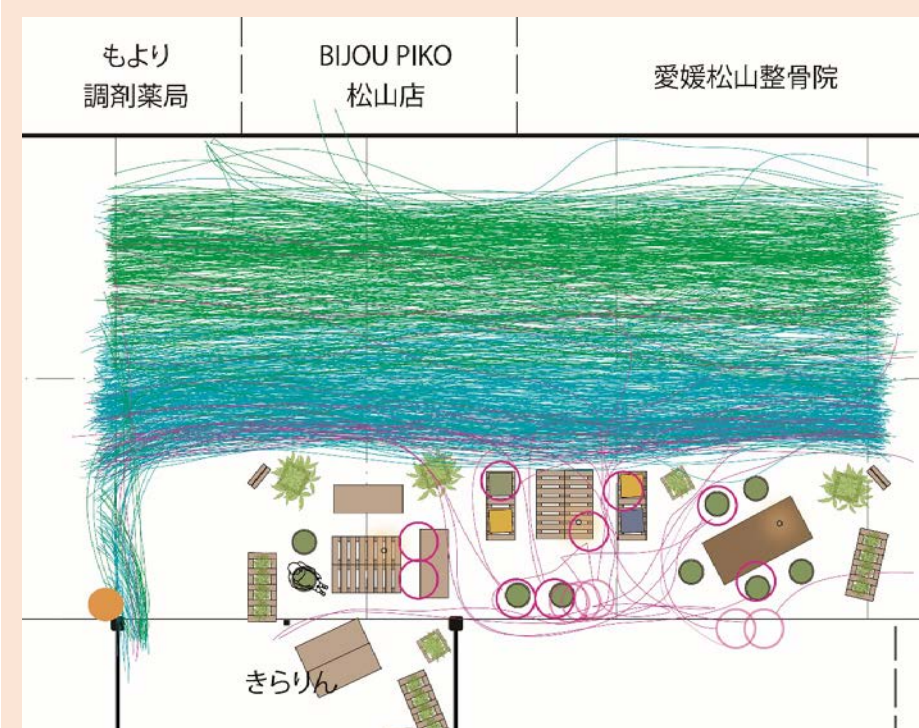
- 調査結果
- 全歩行者数 : 565人
  - 東から西(青) : 280人
  - 西から東(緑) : 285人
- ・平日の歩行者の約1.5倍となっている。
  - ・同じく、きらりんへ一定数の歩行者が入っている様子が伺える。

【平日期間中：6月2日(金)16時30分~45分】



- 調査結果
- 全歩行者数 : 341人
  - 東から西(青) : 154人
  - 西から東(緑) : 166人
  - 滞留空間へ立ち寄り(赤) : 21人
- ・周辺店舗の店員がピラ配りを行っていたため、より内側に歩行者が固まる結果となった。
  - ・滞留空間を眺めたり、立ち寄り一定数の歩行者がみられた。

【休日期間中：6月3日(土)14時45分~15時】

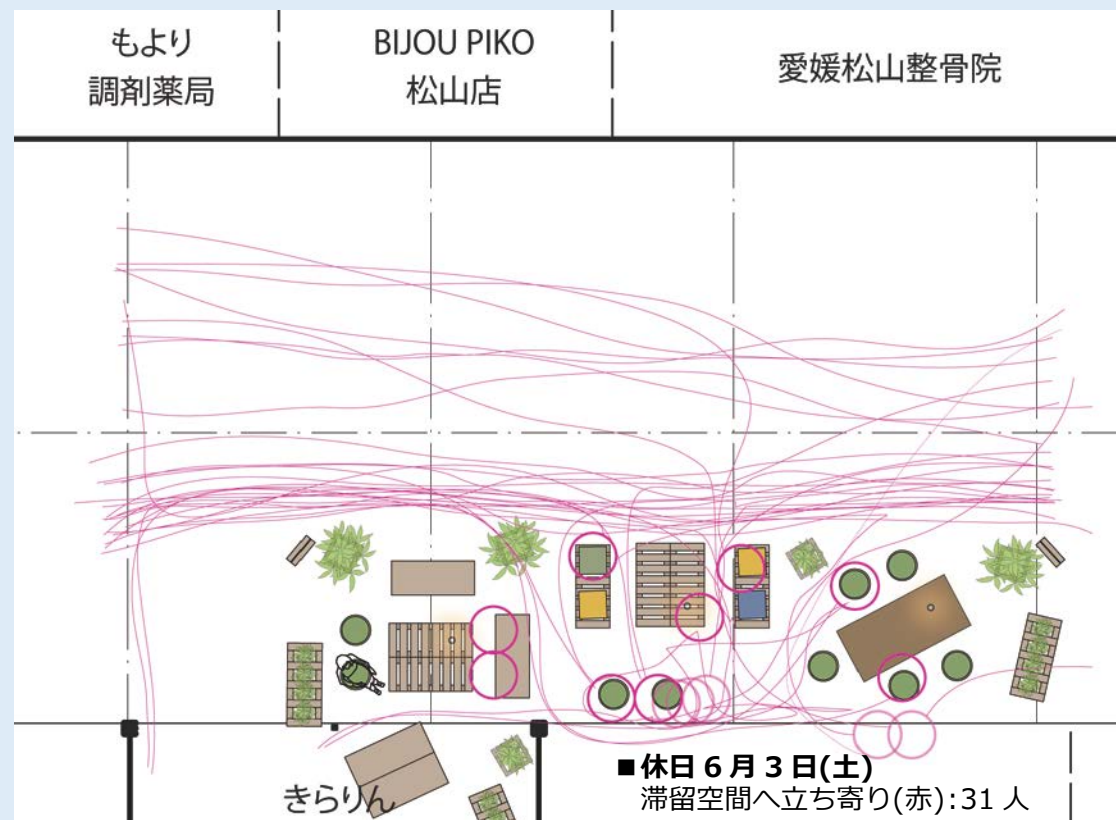
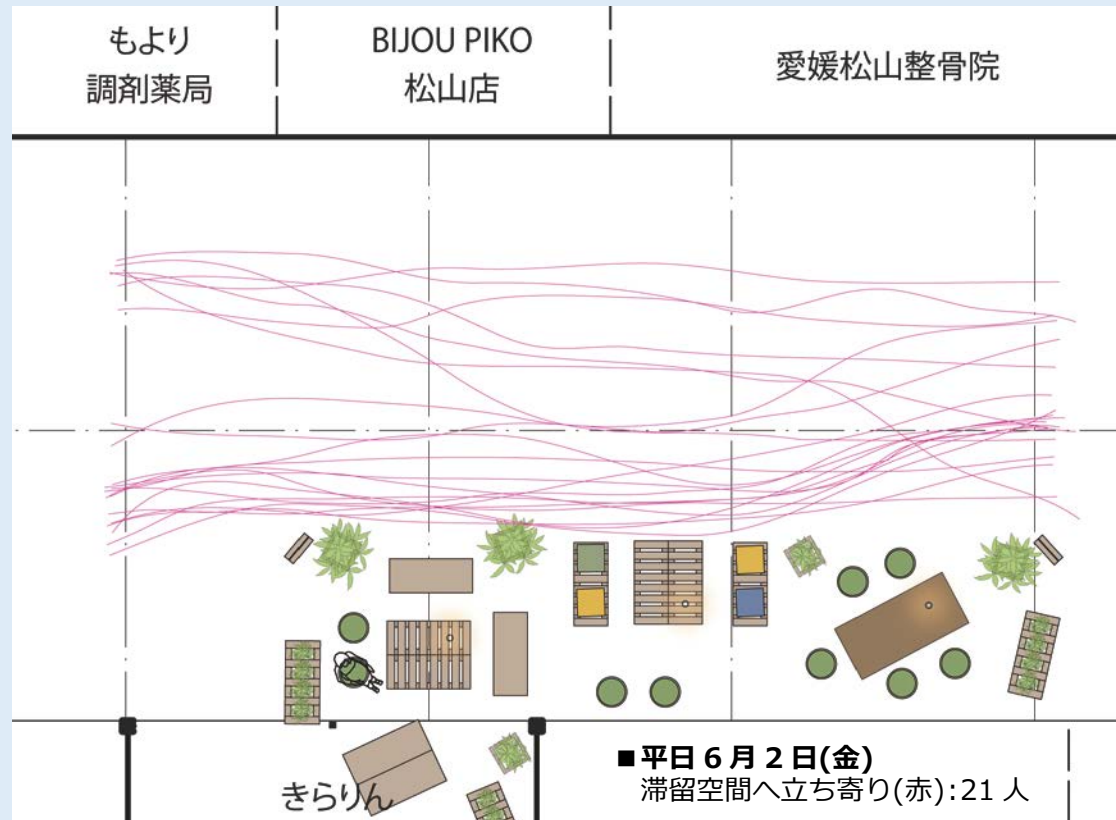


- 調査結果
- 全歩行者数 : 722人
  - 東から西(青) : 396人
  - 西から東(緑) : 295人
  - 滞留空間へ立ち寄り(赤) : 31人
- ・平日よりも多くの歩行者が滞留空間を眺めたり、立ち寄り、座ったりしている様子が伺える。
  - ・本棚ブースや意見収集ブースが興味を引き、歩行者を惹きつける効果が確認できる。

## V 実証実験の効果検証

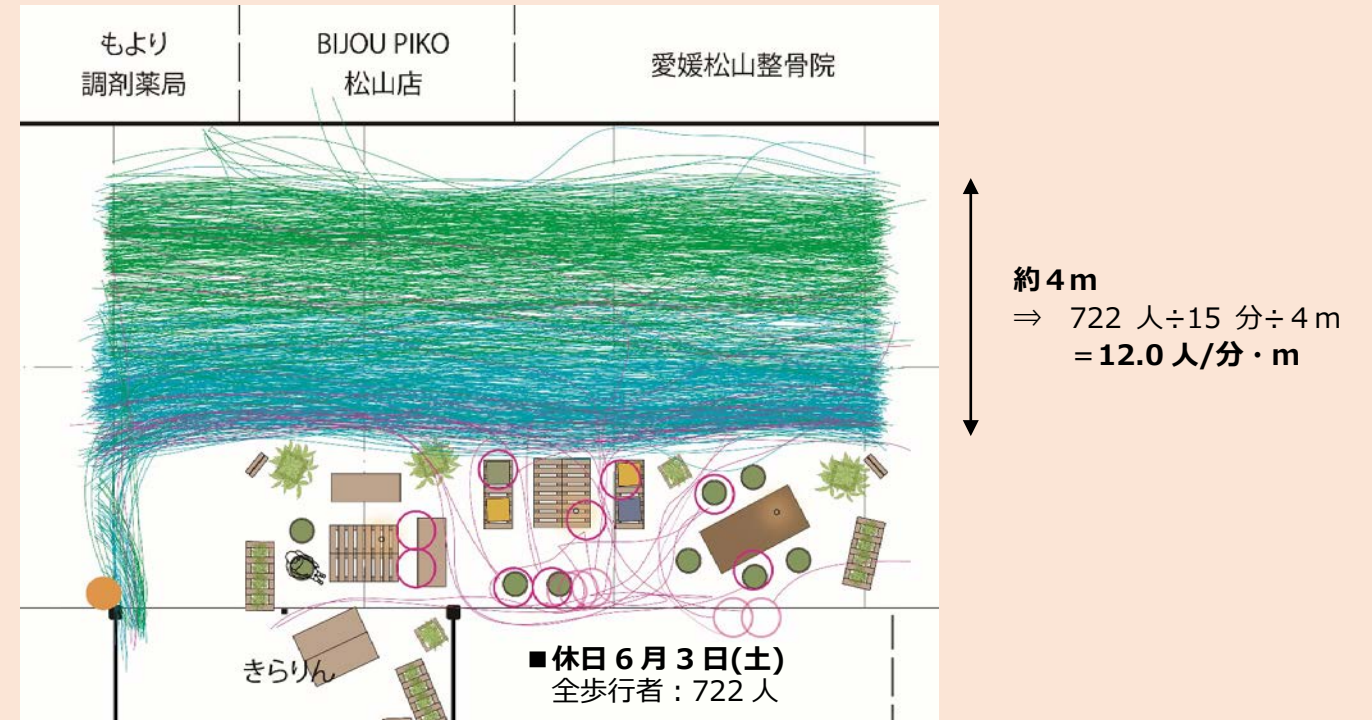
### 【分析1：立ち寄り行動】

- ・滞留空間設置期間中の立ち寄り行動のみを取り出す。
- ・平日休日共に、滞留空間設置場所の反対側からも立ち寄っている様子が分かり、**歩行者への誘因を滞留空間が果たしている**ことが分かる。
- ・特に休日の動線では、**シャッター活用の効果**も大きく、その前のイスなどに多くの動線が集中した。



### 【分析2：滞留空間設置中の歩行者密度】

- ・一番歩行者が多かった休日期間中は、15分間で722人の歩行者が滞留空間前を移動した。
- ・滞留空間の設置によって、より狭い範囲に多くの歩行者（**12.0人/分・m**）が通過した。
- ・参考文献※によると、歩行者は「**交通量が15人/m・分以下ならば、すれ違い・追い抜きがしやすいと意識している。**」とあり、また**サービス水準はA**であり、**設置による歩行の阻害は無い**と考えられる。



### 【参考文献1】

- 「歩道の幅員・交通量の変化と歩行者の意識」東京都建設局土木技術支援・人材育成センター年報（平成15年）抜粋
  - (1)交通量が15人/m・分以下ならば、すれ違い・追い抜きがしやすいと意識している。
  - (2) 40人/m・分以上がしにくくなると意識し始めている。
  - (3) 60人/m・分以上になると、ほとんどの被験者がしにくいと意識している。

### 【参考文献2】

- 「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」（平成19年3月）抜粋

歩行者交通に対応し得る十分な施設計画とした上で、さらに快適な歩行環境の形成を行うことが必要である。  
大規模開発地区は、都市内における交通施設整備の良好な事例となることが相応しいため、高水準のサービスを行うよう十分な幅員とすること。歩行者流量によるサービス水準は次のようであり、水準Aを目指すこと。

A 自由歩行	～ 27人/m・分
B やや制約	27～ 51
C やや困難	51～ 71
D 困難	71～ 87
E ほとんど不可能	87～100